

2025年度光赤天連シンポジウム

橋本拓也(筑波大学 助教)

On behalf of the GOPIRA board members

我々の決断：光赤天連ロードマップ2025

目的：日本がどのような長期・大型計画を進め、コミュニティ全体で推進し、実現化させるか話し合うこと

- 光赤天連将来計画検討専門委員会にて検討された「光赤天連ロードマップ2025」の中身について、当該委員会から報告を行う。
- 世界の天文学の動向のレビュー：JWST、Euclid、VRO LSST、Roman Space Telescope の大型サーベイによって近い将来に実現が期待される研究の情報を、コミュニティで共有する。
- 国内地上計画：TMTやHSC・PFS・ULTIMATEを中心とするすばる2に加えて、ポストTMTやすばる3を見据えた議論も行う。
- 国内スペース計画：日本主導のJASMINE、Solar-Cを確実に実現し、次のスペース計画に繋げるために、コミュニティからJAXAに要請を発信する。X線天文学の研究者との情報交換および議論の場を設ける。
- 若手の育成・支援：博士号を取得して間もない研究者（2025年3月、2025年9月の取得者）による研究発表のセッションを設け、優れた発表に賞を与える。（光赤天連ウェブページにも掲載します！）
- 本シンポジウムは国立天文台との共催とする。

日時： 2025年9月16-18日

場所： 国立天文台（三鷹）すばる棟大セミナー室

旅費支援： 国立天文台の2025年度研究集会に旅費支援を申請中（70万円）。主に若手の支援。

世話人： 栗田光樹夫（京都大学）、児玉忠恭（東北大学）、小山佑世（国立天文台）、高田昌（IPMU）、長尾透（愛媛大学）、橋本拓也（筑波大学）、本田充彦（岡山理科大学）、本原顕太郎（国立天文台）、吉田二美（産業医科大学・千葉工業大学）

内容： (1) 2020年代の天文学の展望、
(2) 現在進行中の計画の現状を把握、
(3) コミュニティで議論されている将来計画、
(4) 今後の戦略の議論。

それぞれのセッションで広い視点でレビューできる方を招待講演を依頼し、現状・今後の展望を共有するとともに、今後の大型研究、中小規模計画（人材育成を含む）の戦略を議論する。関連する技術、サイエンスの一般講演を募集。

プログラム案

セッション1: オーバービュー (日本・世界), サイエンスの展望 (マルチメッセンジャー天文学, 系外惑星, 銀河進化など, 2030年代の主要サイエンステーマに関するレビュー)

セッション2: 現在推進中・検討中の計画 TMT, すばる2, その他計画 (LSST, Euclid, Roman, HWO, JASMINE, TAO等)

セッション3: 各機関・施設の活動報告 せいめい望遠鏡、OISTER、その他各望遠鏡

セッション4: 「光赤天連ロードマップ2025」将来計画検討専門委員会からの報告, 各大規模プロジェクトの説明, スペースミッションに関してX線コミュニティとの協調

セッション5: 人材育成, 若手研究発表 学位を取得したばかりの学生を中心に研究発表

学生や若手の方、ぜひ積極的にご参加ください！